

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成29年2月16日（木）

【協議事項】

1 浪川会第4回指定及び太州会第9回指定について

（暴力団対策部）

警察本部から「大牟田市に主たる事務所を有する浪川会及び田川市に主たる事務所を有する太州会については、暴力団対策法第3条各号の指定要件をいずれも満たしており、国家公安委員会の確認も行われた。同法に基づき、浪川会については第4回目の、太州会については第9回目の指定暴力団としての指定をすることにつき御審議頂きたい。」旨の説明後、本件は了承された。

【報告事項】

1 平成29年度警察費予算案の概要について

（総務部）

警察本部から「平成29年度県費警察費当初予算案は、1,240億8,700万円余、前年度対比10億4,600万円余の増となっている。重点施策事業は、事務所使用差止請求を行う暴追センターへの助成、サイバー犯罪捜査用資機材の整備等の計8事業が新規予算となる。その他の主な事業は、城南（仮称）警察署の建設候補地の調査、航空隊庁舎の移転改築に伴う設計、行橋警察署の新庁舎建設等の計6事業となっている。」旨の報告があった。

公安委員から「事務所使用差止請求への助成は、住民と共に行動していく上で大変良いことだと思うが、今後、拡充の必要はないのか。」旨の発言があり、警察本部から「過去の実績を見れば、当面は今回の予算額で対応可能だと考えている。」旨の説明があった。

公安委員から「爆発物探知犬は、県警の訓練所で訓練しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「爆発物の探知は特殊な技能となるため、民間に委託して育成することとしており、今回の予算はその費用である。」旨の説明があった。

公安委員から「性犯罪等の犯人逮捕に必要な資機材については、今後も是非、増やしていただきたい。」旨の発言があり、総務部長から「実績を踏まえて、検討していきたい。」旨の説明があった。

2 城南（仮称）警察署の新設について

（警務部）

警察本部から「早良警察署を分割し、城南（仮称）警察署を新設する。治安情勢等から分割する必要がある、分割によって住民の安心感の確保等が図れる。今後、候補地を選定し、平成34年4月の開庁を予定している。」旨の報告があった。

公安委員から「老朽化が著しい早良警察署や田川警察署の建替えはどうなるのか。」旨の発言があり、警察本部から「厳しい財政事情などから城南（仮称）警察署の開庁まで難しいとは思いますが、今後、財政や土地の確保状況などを検討していく。」旨の説明があった。

3 福岡県総合計画案の概要について

(警務部)

警察本部から「「県民幸福度日本一」の福岡県の実現を加速させるため、平成29年度から平成33年度までの5年間を計画期間として、県の行政運営の指針となる計画が策定される。警察関連としては、7柱24施策が盛り込まれ、さらに、8項目の数値目標を設定している。」旨の報告があった。

公安委員から「全10柱の中の7つに警察が直接関係する施策があり、幅広く地域住民に関わってくる。それだけ県警の役割は重要であるということであり、頑張っていたきたい。」旨の発言があり、警察本部から「全体として県と連携したものが多い。今後も、県との連携が重要と考えている。」旨の説明があった。

4 福岡県行政改革大綱案の概要について

(警務部)

警察本部から「県民ニーズに適合した行政サービスを効果的に提供するため、平成29年度から平成33年度までの5年間を計画期間として、県の行政改革の基本的な考え方等となる大綱が策定される。内容は、4つの改革の柱と52の具体的な改革事項で構成されており、警察としては、具体的な改革事項として「限られた人的資源の有効活用」を掲げている。」旨の報告があった。

5 福岡県警察職員の給与に関する条例の一部改正(案)について

(警務部)

警察本部から「福岡県人事委員会による平成29年1月31日付けの「福岡県の職員の給与に関する報告及び勧告」に鑑み、医療職給料表の見直しを行うとともに、栄養士及び保健師として新規採用される職員に対する初任給調整手当を新設する。」旨の報告があった。

6 監察関係報告について

(警務部)

警察本部から「巡査部長等による証拠物件偽造等事案について、平成29年2月16日付けで当該職員らをそれぞれ懲戒処分(減給10/100、1月及び戒告とする。）」旨の報告があった。

7 北九州マラソン2017の概要と交通対策等について

(交通部)

警察本部から「平成29年2月19日、北九州市において「北九州マラソン2017」が開催される。参加人数は約1万3,000人であり、県警察では、自主整理員と共に所要の体制で警備に当たる。」旨の報告があった。